

2. 技術提案書・基本設計図書等に関する質疑・回答書

質疑番号	資料	資料ページ番号	質 疑	回 答
1	募集要項	V. 4. (1) イ P26	VE提案後の概算工事費(VE後)見積書において、VE採用前提出済みの概算見積書額について数量・単価精査等により金額変更することは可能と考えて宜しいでしょうか。	変更できません。
2	募集要項	V. 4. (1) イ P26	VE提案後の概算工事費(VE後)見積書において、採用されたVEの一部を計上しないことは可能と考えて宜しいでしょうか。	可能です。
3	募集要項	P19 オ	「構成員協力企業」についての要件は、資格総合点数と受注実績を有することの記載がございますが、資格総合点数だけ満たしている企業でも宜しいでしょうか。	募集要項Ⅱ.1.(2)の要件を満たす企業となります。
4	募集要項	14	評価要領内にある「技術提案書の評価基準」と募集要項内にある「記入上の留意事項」がありますが、評価基準の内容が記入上の留意事項に全て網羅されていない部分もあるため、どちらが技術提案書の評価ポイントとしては優先度が高いのでしょうか。	「評価基準」に基づき評価を行います。提案内容には「記入上の留意事項」が記載されている必要があります。
5	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(ア)技術協力業務の実施方法にて「概算工事費見積書の根拠及び考え方」、「概算工事費内訳明細書の活用方法」と記載がありますが、評価者として何を求めているのでしょうか。	工事費の適正なコスト管理にあたり、基礎となる概算工事費見積書の作成基準、また効率的に管理するための概算工事費内訳明細書の活用方法を確認します。
6	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(ア)技術協力業務の実施方法にて「想定される課題と解決策」とありますが、既に建築主にて想定している課題はあるのでしょうか。	技術提案を効果的、且つ効率的に反映するため、募集要項Ⅳ.4.(2).ア.(ア).eの例などを想定しています。
7	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(ウ)施工計画・工程計画についての提案にて「工程上の節目となる各段階での施工状況を表現してください」とありますが、主要工事における施工計画図を載せるべきでしょうか。	施工・工程計画の分かりやすい表現方法の一つとして考えられます。提案書作成の工夫の範囲でご検討ください。

質疑番号	資料	資料ページ番号	質 疑	回 答
8	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(ウ)施工計画・工程計画についての提案にて「主要資機材の概算数量を記述してください」とありますが、どこまで記載する必要があるのでしょうか。例えば、機材はクレーン台数、生コン車台数、掘削ダンプ台数、資材は掘削数量やコンクリート数量まででしょうか。	貴見のとおりです。
9	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(エ)施工上の課題に対する技術的所見と(ア)会津若松市内建築企業等の技術力向上及び人材育成の取組にて「対象工事」とありますが、何を対象工事とするのでしょうか。	本プロポーザルで選定の施工予定者の工事範囲を指します。
10	募集要項	18	募集要項内にある「記入上の留意事項」の(エ)施工上の課題に対する技術的所見にて「内容及び概算工事費・工期について提案書に記述」とありますが、施工上の課題となる部分を当方で想定してその工期と概算工事費を記載する必要があるということでしょうか。どのようなものを求めているのでしょうか。	想定される課題の具体的な解決方法について提案頂くことを意図しています。具体的な表現として、対象課題の概算工事費や工期等を提示頂くと、課題の大きさに対する理解度が測りやすいという主旨です。
11	募集要項、6.各種資料(建築)	P7・P6、SA-04	竣工日の記載に、要項書と資料内の工程で差異が生じています。竣工は要項書に示されている3月17日を正と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
12	様式6-2、6-3		技術提案書の様式6-2、6-3の余白を広げる事は可能でしょうか。可能な場合どの程度まで広げる事が出来るでしょうか。ご教示ください。	余白の調整はできません。

※基本設計図書に関する技術的な確認に関する事項については、参加者に別途共有いたします。